



基本理念

私たちは 地域から強く信頼される病院を目指します そのために 誠実で前向きで勤勉であるよう努めます

20 第50号 広報誌、年4回発行 発行: 回近賴賴申于都宮病院 発行: 平成 31年1月1日 新熊話:沼 尾 利 郎	

新年のご挨拶

院長沼尾利郎

あけましておめでとうございます。皆様のご健康とご多幸を心からお祈りいたします。本年 もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年は当院にとって大きな飛躍の年となりました。4月には医療・介護連携支援ステーション(宇都宮市から業務委託)の運営を開始して、地域の医療と介護の連携強化を支援しています。また開設5年目の地域包括ケア病棟は平均利用率94%超を維持しており、重症心身障害病棟を含む入院患者数や救急患者受入数の増加などにより、今年度の経常収支率(4~10月)は107.1%(関東信越にある32機構病院中第1位)という結果を残すことが出来ました。今後は安定した病院経営を維持した上で医療の質の更なる向上と全面建て替えの早期実現、さらには働き方/働きやすさの改善が当面の大きな課題であり挑戦です。

挑戦と言えば、日本を代表する洋画家である小磯良平の没後30年を記念した展覧会「西洋への憧れと挑戦」を観る機会が昨年ありました(神戸市立小磯記念美術館)。卓抜した描写と近代的感覚により典雅で気品のある女性像を描き続けた小磯ですが、戦時下の大画面群像や戦後の抽象表現・オランダ室内画への傾倒など、新しい表現をめざして葛藤と模索を重ねた彼の軌跡がよく分かりました。生涯を通じて西洋画を学び挑戦し続けた小磯良平のように、時代や社会の変化に対応して果敢にチャレンジすることが今の当院には求められています。



斉唱(1941年)小磯 良平

今年の干支(えと)は亥(イノシシ)ですが、次世代へ向かう準備をするとか万病を予防する(無病息災)意味があるそうです。時代がどんなに変わろうとも、私たちがなすべきことは変わりません。地域との連携をより一層推進させながら、治らない病気や重い障害があっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしが続けられる「地域包括ケア」の構築と、高齢者や障害者など全ての住民が相互に支え合いながら、暮らしや生きがいを創り高め合う「地域共生社会」の実現を目指して努力いたしますので、本年も皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

日本ACLS協会 栃木トレーニングサイトのご紹介

統括診療部長 増田 典弘

心肺機能が停止した状態にある傷害者の循環および呼吸を回復させる手技を心肺蘇生法 (CPR) と言い、CPRには誰でも行うことのできる一次救命処置 (BLS) と、専門知識を持った医師や看護師などが医療機器を用いてさらに高度な処置をする二次救命処置 (ACLS) とがあります。日本 ACLS 協会はアメリカ心臓協会 (AHA) と正式に連携した国際トレーニングセンターであり、地域に救急・蘇生の文化を根付かせることを目的とした栃木トレーニングサイトを、栃木医療センターと当院との協力にて新設したのでご紹介させて頂きます。

本協会の使命は「すべてのコミュニティで救命の鎖を改善することにより心肺停止、重症不整脈、虚血性心疾患、脳血管疾患による死亡と後遺症を軽減する」ことであり、「For the patients 患者さんのために」と「For the associates 仲間たちのために」という 2 つの理念に基づいて上記の使命を遂行しています。また本協会の任務には 1) サイエンス、2) トレーニング、3) プラクティスの3 つが必要であり、最新のサイエンスにコンセンサスを加えたガイドラインを実践できるトレーニングに特化した組織として、すべての診療科の医師・看護師・救急救命士・コメディカルそして一般市民までもが参加しています。Best Science に基づいた Best Training が Best Practice につながり、最終的には私たちの顧客である患者さんの利益になるものと確信しています。

本協会のトレーニングサイト・トレーニングセンターは全国に 64 か所あり (2018 年 11 月 3 日現在)、医療従事者から一般市民の方まで幅広く参加しやすいコースを提供していますので、多くの皆様の参加をお待ちしています。



栃木トレーニングサイト



蘇生講習会



適切な検体採取について 採血編

副臨床検査技師長 松井 孝男

みなさんが病院に来てまず当たり前に経験すると思われる採血ついて紹介したいと思います。当院の外来採血室では 「看護師」と「臨床検査技師」が採血を担当しております。「採血」は、病気の診断、病状の把握を行うために必要な医療 行為で、静脈を流れている血液を検査のために採取します。(臨床検査技師・看護師に法律で認められている医療行為

採血室では採血を「安全に」「間違いなく」行うため、次のことを確認させていただいております。

●ご本人確認

「採血取り違い防止 | のため で自身の姓名・生年月日を確 認させていただいております。

2消毒薬に対する アレルギーの有無

消毒薬 (アルコール) に対する アレルギーの有無を確認させ ていただいております。

3食事時間

血糖などの検査項目には食事 を摂ってからの時間が大きく影 響します。

採血は基本的に安全性の高い手技ですが、まれに次のような合併症(併発症)が起こることがあります。

◆神経損傷

採血後に手指へ拡がる痛み、しびれなどが生じ、一定期間が経過した後も持続します。皮膚表層近くの神経走行は個 人差が大きいため、神経損傷を 100% 防止することはできませんが、通常の採血では太い神経の断裂などの可能性は 低く、損傷は軽度で症状は軽く一時的な場合がほとんどです。

◆血管迷走反射 (VVR)

採血で針を刺したとき、心臓の働きをゆっくりさせる神経が刺激され、脈拍・血圧が低下した状態です。一時的に気持 ちが悪くなったり、意識が遠のいて倒れてしまったりすることがあります。

◆止血困難 · 皮下出血

採血後の不十分な止血操作などが主な原因です。十分な圧迫止血をしていただきますようお願いしております。血液 をサラサラにする薬を飲んでいる方は特にご注意下さい。

◆アレルギー

採血時の消毒薬(アルコール)でかゆみ、発疹を初めとするアレルギー症状が出現することがあります。アルコール以 外の消毒薬もご用意しておりますのでご心配はございません。

以上のような合併症が起きた場合には、最善の処置を行うようスタッフー同心がけております。ご不明な点や、ご不安 な点がございましたら、遠慮なくスタッフにお聞き頂きたいと思います。



寝たきりにならないために

お年寄りの転倒・骨折による寝たきりが増えています。



副診療放射線技師長 井場木 睦

年をとるにつれて骨が弱くなり、骨折しやすくなります。お年寄りでは骨がもろくなっているうえにバランス感覚が悪く なり転びやすくなって足の付け根が骨折する『大腿骨頸部骨折』がよく起こります。ここを骨折すると、起立や歩行ができ なくなり長期の入院が必要なため寝たきりにつながります。女性の場合寝たきりの5人に1人が大腿骨頸部骨折が原因 です。骨が弱くなる一番大きな原因は骨粗しょう症です。50歳以降の女性に多く見られ患者数は男性200万人、女性

800万人に達していると言われています。骨粗しょう症は女性ホルモンの低下やカル シウム摂取不足、運動不足、遺伝などの要因が重なって発症します。定期的な診察と 検査により骨粗しょう症を改善して『いつの間にか骨折』や『大腿骨頸部骨折』を予防 しましょう。当院の放射線科では腰椎と大腿骨頸部の骨密度検査を行っています。骨 粗しょう症の検査をご希望の方は、担当の先生にご相談ください。



第7回国立病院機構宇都宮病院連携医大会の開催

経営企画室長 富岡 謙二



片山宇都宮市医師会長



地域医療連携部のメンバー

10月18日(木)19時より 「第7回国立病院機構宇都宮病 院連携医大会」を開催いたしま した。

栃木県医師会常任理事の草 野先生、宇都宮市医師会会長 片山先生をはじめ28名の先生 方に参加していただきました。 今回は当院の佐藤外来診療部



会場の様子

長より「糖尿病治療について考えよう」と題して講演を行いました。糖尿 病治療の過去から現在に至るまでを振り返る話で、とても興味深い内容 でした。

今回の連携医大会に関するアンケートは概ね満足いただけた結果で したが、引き続き地域の医療従事者に対する研修会を行うとともに、連 携医の先生方、関係する皆様と顔の見える連携を深めながら地域の医 療に貢献できるよう努力していきたいと思います。

ご参加いただきました皆様には、ご多忙中にもかかわらず大変あ りがとうございました。

第3回看護·介護連携懇話会

地域医療支援係長 塩澤 中香



院長あいさつ

11月15日、地域と「顔の見える」連携を目的に「第3回看護·介護連携 懇話会 | を開催しました。今年度は、宇都宮東・北ブロックエリアの地域包

括支援センター、居宅介護支援 センター及び訪問看護ステー ションの方々51名の参加をい ただきました。

地域医療連携室の活動報告 や各科紹介を行い、地域のケア マネジャー、看護師、コメディカ

ルの方々と当院の医師、看護師、MSWが軽食を取りながら和やかな雰囲 気の中、懇話会が進みました。「普段できない砕けた会話もでき楽しい時 間だった。」「とても身近に接することができ、参加してよかった。」等、参 加者の方々から感想をいただきました。

本年度より当院は、市民の皆さんが医療·介護が必要な状態になって も、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、医療・介護 連携の際に必要となる情報の提供や、医療・介護従事者の顔の見える関 係づくりに向けた研修会の開催等を実施する「宇都宮市医療・介護連携 支援ステーション」として地域の医療・介護連携をサポートしています。

これからも、より一層、地域と「顔の見える」連携をすすめていきたいと 思います。



懇話会の様子



看護部長あいさつ

第18回日本医療マネジメント学会 栃木県支部学術集会を開催しました

管理課長 横内

平成30年10月13日に当院が会長施設となり、「第18回日 本医療マネジメント学会 栃木県支部学術集会 | が開催されました。

テーマは「地域医療の賢い選択」で、特別講演として国際医療福 祉大学の高橋 泰教授にご講演をいただきました。

また、特別講演の他にもポスター発表、職種別分科会、パネル ディスカッションと盛りだくさんの内容で、特に職種別分科会は、医



職種別分科会

療ソーシャルワーカー、 診療情報管理士、医師 事務作業補助者の3職 種の方が集まり活発な

議論と情報交換が行われました。

学術集会全体では、150名以上の多くの方に参加いただき大変 盛況に終了しました。

最後に、準備等に携わったスタッフや関係者の皆様には心よりお礼 申し上げます。

第72回国立病院総合医学会に参加(発表)して

栄養管理室 青木 緩美



ベスト口演賞をいただきました

11月9~10日に神戸で開催されました第72回国立病院総 合医学会で「当院における糖尿病透析予防指導の効果」という演 題名で口演発表を行いました。

当院では、医師・看護師・管理栄養士で構成された糖尿病透析 予防指導チームで外来患者さんの糖尿病性腎症の進行予防を目的 に指導を行っています。現在、定期的にカンファレンスを行い、指 導方法や評価などを共有し、効果のある指導を目指しています。 ここ数年、継続的に指導を行い指導件数も増加しています。今回、 当院の現状や継続的なアプローチで効果が出ていることを公の場 で紹介したいと思い、エントリーしました。実際に透析予防指導に

関わって感じていることは、早期介入すれば、腎機能の改善が見込 めることです。また、継続して指導を行うことで、患者さんと数値 改善が出来た時には共に喜べることは私達のモチベーションも上が り、励みにもなっています。

発表後、他施設の看護師さんから熱心に質問をして頂けたことも 発表して良かったと思える瞬間でした。また、ベストロ演賞もおま けについてきて嬉しさ倍増でした。これに満足せず、今後も患者さ んのために何が出来るのかを考えて、日々の業務に勤めていきた いと感じる学会となりました。



前回の学会からバトンをつなぐ応援旗



院内グリスマスコンザート



庶務班長 白潟 慎一

12月12日(水)16時半から外来受付前でクリスマスコンサートが開催されました。金井早苗さん(グランドハープ)と安藤真理子さん(フルート)によるデュオコンサートです。 演奏が始まると外来受付前が、しっとりしたJAZZYな空間に早変わりしました。私はハープの演奏を聴くのは初めてでした。以前行ったことのあるジャズコンサートの雰囲気と同様に感じました。ただ、そのときよりも、とても深みのある音色が特徴的でした。



ハープは間近で見るとやはり大きく重厚で、だからこのような音が出るのかなと感じました。紀元前からある伝統的な楽器で、クラシック、オーケストラのイメージがありますが、今は JAZZY な演奏もあるようです。

当院には長期入院の患者さんも多数おられますので、とてもよい非日常空間を演出できていたのではと思います。

検査の "ギモン"にお答えします!

診療放射線技師 髙橋 浩太郎

10月18日(木)に河内総合福祉センターにて、にこにこクラブ福祉センター様からのご依頼で出前講座を行いました。今回は『CTとMRIの違いってなに?』という題で、CT、MRIを中心に放射線科で行う様々な検



出前講座の様子

査をご紹介しました。質問もたくさんいただき、頻繁にレントゲン検査をしているけど大丈夫か、CTもMRIも両方撮っているけど本当に必要なのか、といった日ごろ感じている疑問を少しでも解消することができたのではないかと感じています。検査を受ける上で普段聞きづらいことも多くあるかと思います。安心して検査を受けていただくために、今後も地域の皆様に放射線科の検査について知っていただくための時間を作っていきたいと考えていますので、放射線科へのご用命をお待ちしております。

起震車による地震体験



庶務班長 白潟 慎一 11月28日(水)の消防訓練後、起震車による地震体験を実施しました。

訓練の前日、宇都宮市は震度3の地震が発生しましたので、震度3までは体験済みでしたが、起震車により震度6以上を体験でき、揺れの大きさを実感しました。貴重な体験になったと思います。この次、この揺れに遭遇したとき自分が如

何に行動するかを考える良い機会でした。訓練に参加された他の職員も、きっとそのように考えていたと思います。 参加された皆様お疲れ様でした。宇都宮中央消防署の方々ありがとうございました。

編集後記

2019年はじめての宇都宮病院広報誌「わかあゆ」です。新春にふさわしい号の発行ができたと思います。昨年の秋から冬にかけて沢山の研修やイベントが行われました。各職種の皆さんが一生懸命に原稿を書いて下さった思いが届きましたら幸いです。 今年も皆様に発行が楽しみにして頂けるような「わかあゆ」を作ろうと気持ちも新たに取

今年も皆様に発行が楽しみにして頂けるような「わかあゆ」を作ろうと気持ちも新たに取り組んで参ります。この号を読んで下さっている方はもちろん、皆様にとって幸多き年になりますように編集委員一同心よりお祈り申し上げます。

副臨床検査技師長 松井 孝男



【 北岳から朝の富士 】 表紙撮影: 赤川 一則さん(元職員)

- 사 # N # -			J 2 193 CT	_L 199 [7]	maa	
診療科名		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
総合内科	午 前	黒木 知則		黒崎 史朗	沼尾利郎(第2·4·5週)	志水 太郎
					志水太郎(3週)	(第1·2·4·5週)
糖尿病·内分泌内科	午前	佐藤 稔	菊池 朋子	西田舞	佐藤 稔	森豊
	午 後	佐藤 稔			佐藤 稔	
脳神経内科	午前	作田 英樹			伊藤雅史	
	午 後	作田 英樹			伊藤雅史	
物忘れ外来(午後・	物忘れ外来(午後・予約制)			伊藤雅史		
消化器内科	午前	常見美佐子	菅谷 洋子	渡邉 詔子	菅谷 洋子	前田 光德
	午 後	常見美佐子	菅谷 洋子		菅谷 洋子	前田 光德
	午 前	沼尾 利郎/	野村 由至/	安西真紀子	梅津 貴史/	野村 由至/
	1 89	梅津 貴史	成本 治	女四共心」	藤松 孝旨	池田 直哉
呼吸器内科			成本 治/		黒崎 史朗/	
	午 後	沼尾 利郎	黒木知則	安西真紀子	藤松 孝旨	池田 直哉
			無小 和則		上	
禁煙外来 (保険適用)					藤松 孝旨	沼尾 利郎
					上	/山佬 们印
リウマチ膠原	病 内 科			高村 雄太		
小 児 科		影山さち子			影山さち子	影山さち子
	午 後	[予約制]			子供療育相談ルーム	[予約制]
		ר המו היוי גר			[予約制](2:4週)	ר המו היוי גר ד
	1 診	増田 典弘	芳賀 紀裕	滝田 純子	増田 典弘	芳賀 紀裕
外 科	2 診	芳賀 紀裕	柴崎 雄太	芳賀 紀裕	山口 悟	滝田 純子
71 14	3 診					田嶋 公平
	U 15/					(呼吸器外科)
	1 診	診 田中 孝昭	茶薗昌明	田中 孝昭 (第2·3·4週)	茶薗昌明(第1.3.5週)	
					石川義久(第2·4週)	熊谷 吉夫
整形外科					(初診のみ)	
				秋山昇士(第1·5週)		
	2 診	小牧 宏和	種田 雅仁	茶薗昌明(第2·4週)	小牧宏和(第1·3週)	秋山 昇士
				熊谷吉夫(第3週)	種田雅仁(第5週)	
リウマチ科				熊谷吉夫(第1·5週)		
(整形外科1診)				田中孝昭(第2·3·4週)		
リハビリテーション科				茶薗 昌明	茶薗昌明	熊谷 吉夫
装 具 外		田中 孝昭				熊谷 吉夫
側 湾 症 外 来 午 前					茶薗昌明(4週)	
障害者歯科						石川 博之

外来受診案内 -

- 初診及び予約のない方の外来診療受付時間は、8:30~11:00迄です。 緊急で来院される場合は、電話でお問い合わせ下さい。
- 物忘れ外来につきましては、地域医療連携室にて電話での予約を受け付けております。
- 地域医療連携室 TEL 028-673-2374(直通) FAX 028-673-1961(直通) 担当(ソーシャルワーカー):永山・吉田・福冨・髙徳・浦瀬・市村(内線133)

下記は入院患者さんを中心として診療しております。

診療科名		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
循環器內科	午	前		田所寿剛(1.3.5週) 伊藤 致(2.4週)	鈴木菜穂子		伊藤 致(2:4週)
	午	後	渡邊 諒 (15:00~16:30)	田所寿剛(1.3.5週) 伊藤 致(2.4週)	鈴木菜穂子		伊藤 致(2:4週)
歯		科	渡辺 裕子	渡辺 裕子	渡辺 裕子	渡辺 裕子	渡辺 裕子
眼 科(午	後)					松原 忠之
皮膚科(午	後)			西川 聡一		
耳鼻咽喉科(午	後)	永島 祐美				

- ▶ 診療時間は8:30~17:15迄です。
- 休診は土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月29日~1月3日)です。
- 都合により臨時休診になる診療科もありますので、ご確認のうえ、ご来院ください。



独立行政法人(NHO)

国立體宇都宮病院

〒329-1193 栃木県宇都宮市下岡本町2160 TEL 028-673-2111 FAX 028-673-6148 https://utsunomiya.hosp.go.jp